

Instructions for

Read

III



新装高性能のセミ判カメラ

パール III

- * 画面サイズ 4.5×6 cm (セミ判)
- * 使用フィルム ブローニー (J 120) 16枚撮
- * レンズ 鮮鋭な描写力を誇る ヘキサー F/3.5 75mm
(改良アンバーコーテッド)
- * シャッター 全秒時同調のセイコーシャ MXL
B・1・1/2・1/5・1/10 1/25・1/50・1/100・
1/250・1/500 秒
ライトバリュウ (光値数) 付
- * 距離計 明るく見易い一眼式補色鏡連動距離計 (特許補色鏡使用) 倍率0.57×
- * 焦点を合わせる姿勢で同時にシャッター速度目盛および被写界深度目盛を見ることが出来るファインダー窓
- * 直進式ヘリコイド焦点調節機構
- * 安全確実な押しよいパータイプボディリリース
- * スタートマークによるフィルム装てん、自動巻止式

美しい写真は さくらフィルムで



美しい調子を主とした

コニパン S ASA 50

感度、調子、粒子共三拍子そろった万能フィルム

コニパン SS ASA 100

暗い所や夜の撮影に

コニパン SSS ASA 200

どなたにも、たやすく美しい色彩が得られる

さくら天然色フィルム (昼光用) ASA 10

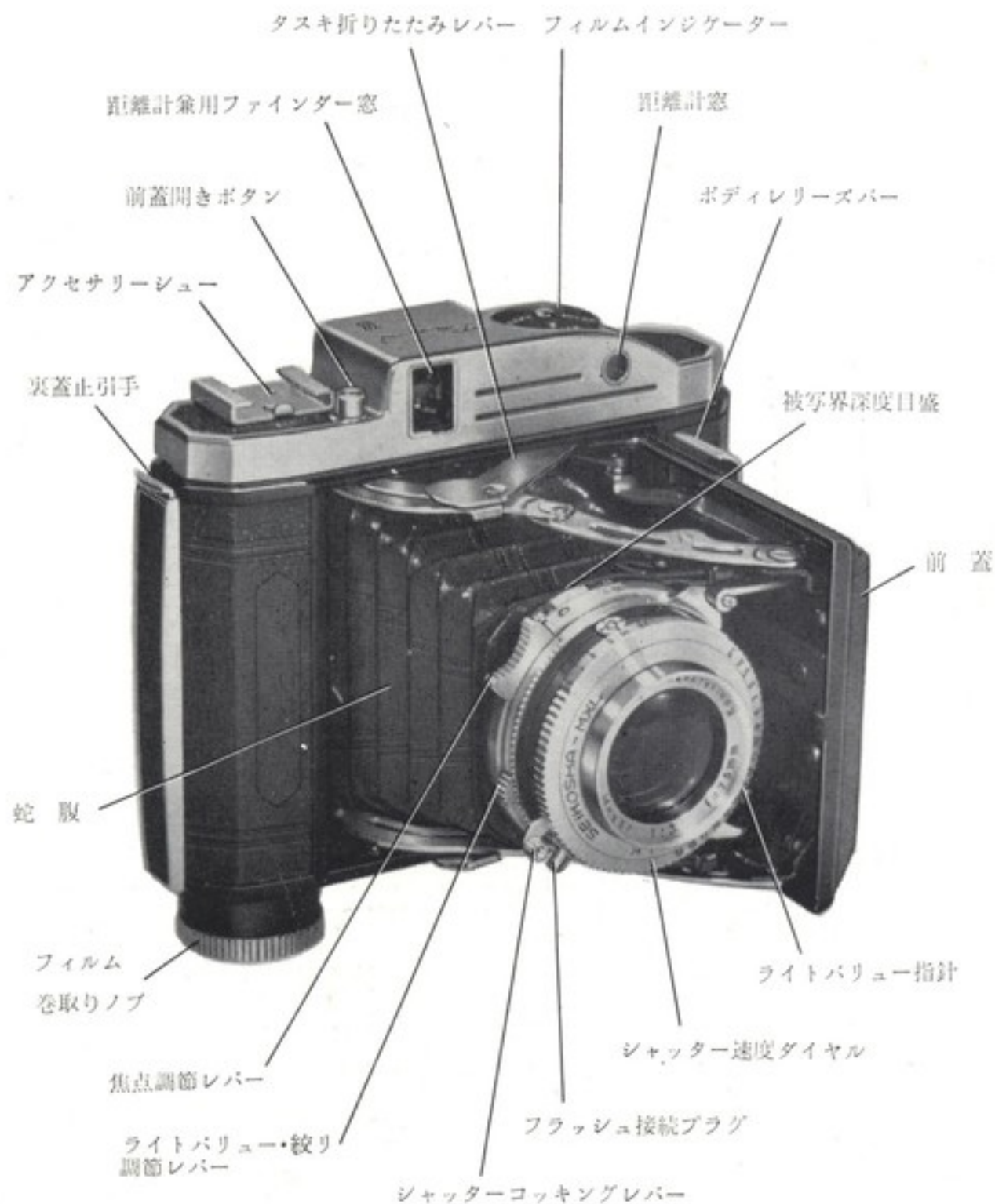
新しい美の開拓に

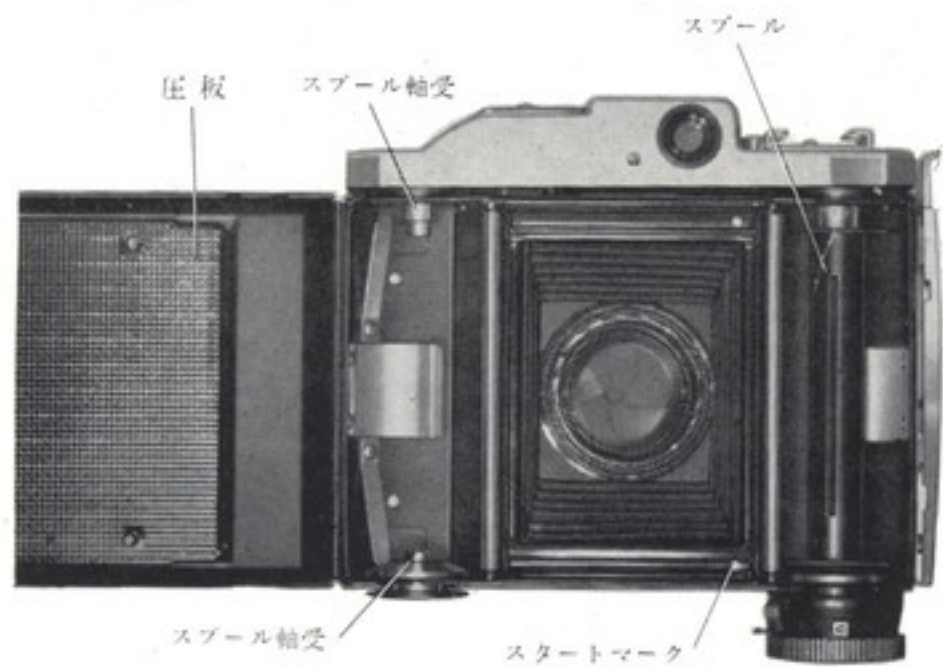
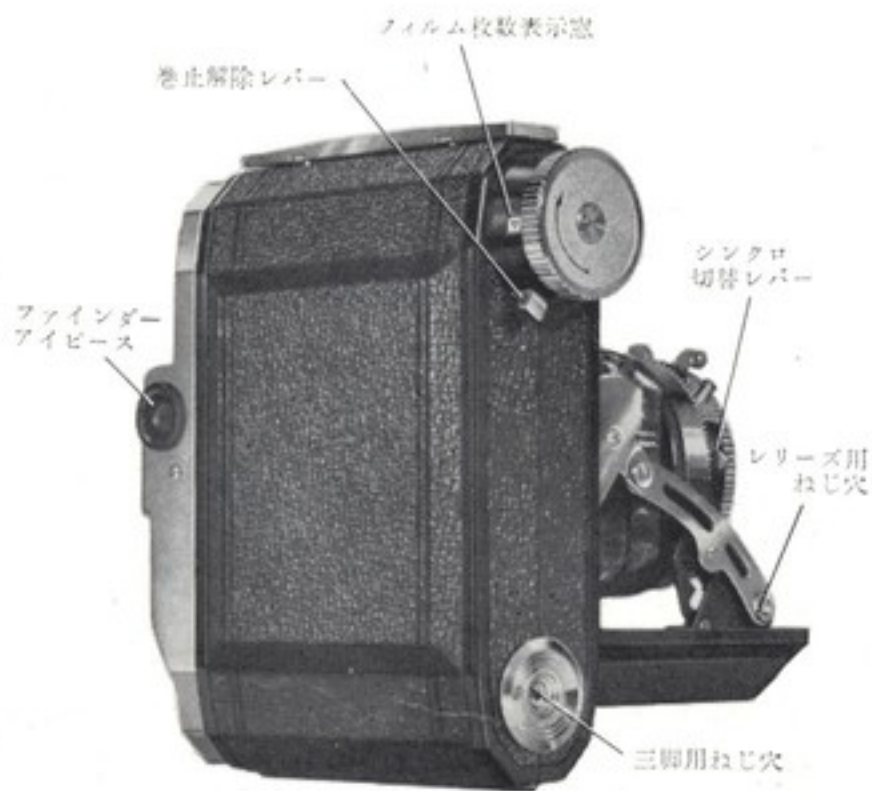
さくら赤外フィルム 赤外感度 ASA 12

一 目 次

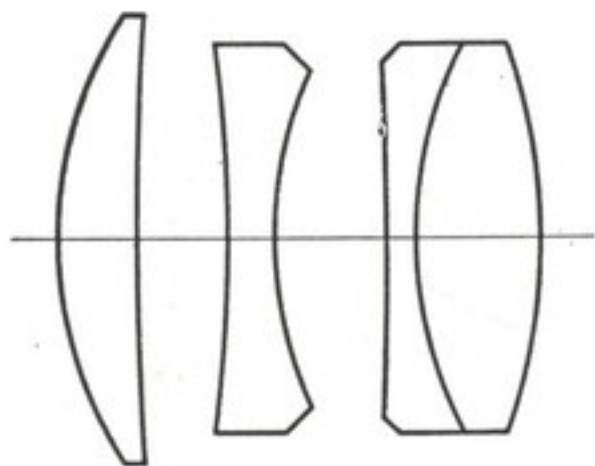
各部の名称	6
レンズ	8
シャッター	9
距離計	10
前蓋の開閉	11
裏蓋の開閉	12
カメラの構え方	13
焦点の合わせ方とファインダーの見方	14
シャッター速度の調節	15
絞りの調節	16
ライトバリュウ（光値数）目盛の使い方	16
撮影の順序	18
フィルムに入れ方	20
ケーブルリリースの使い方	22
フィルムインジケーター	22
赤外撮影用マーク	22
フィルムの取出し方	23
フラッシュ同調撮影	24
被写界深度	26
被写界深度表	27

各部の名称





レ　ン　ズ



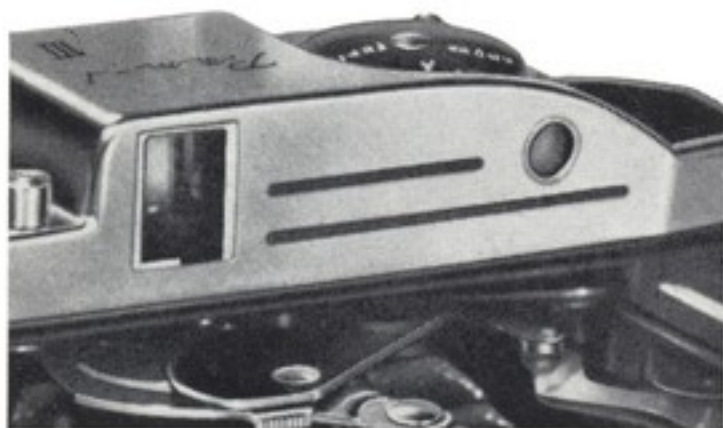
パールⅢには改良されたアンバーコーテッド、ヘキサ—
F/3.5 75 mm がつけられております。諸収差はきわめて
少なく、すぐれた描写力をもっているので鮮鋭な写真を得
ることができます。改良アンバーコーテッドにより、レン
ズ構成全体を通してフィルムに到達する光は、完全な自然
光となすことができるので、カラー写真において明快な色
彩バランスを得ることができ、一般フィルムの場合は自然
光を透過するために、黄・赤・緑等の各種フィルターの効
果をよりいっそう発揮します。

シャッター



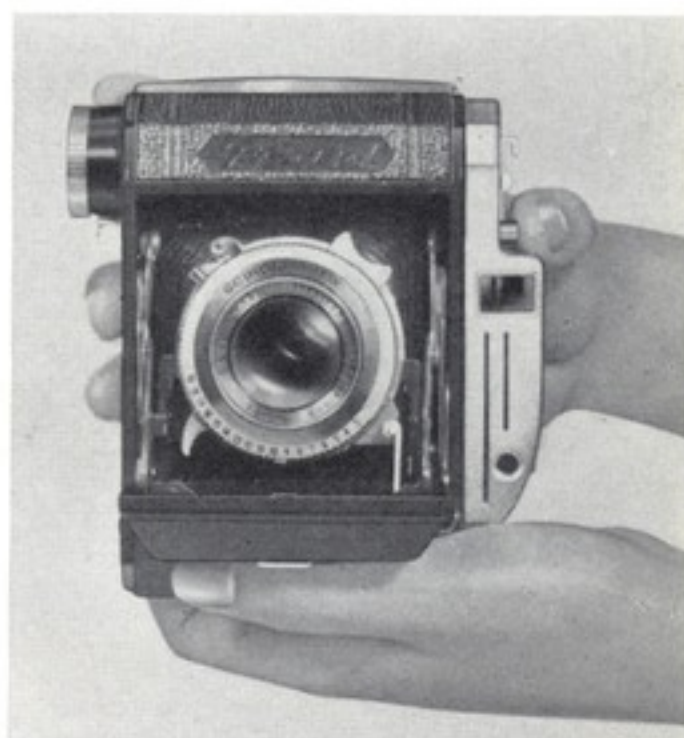
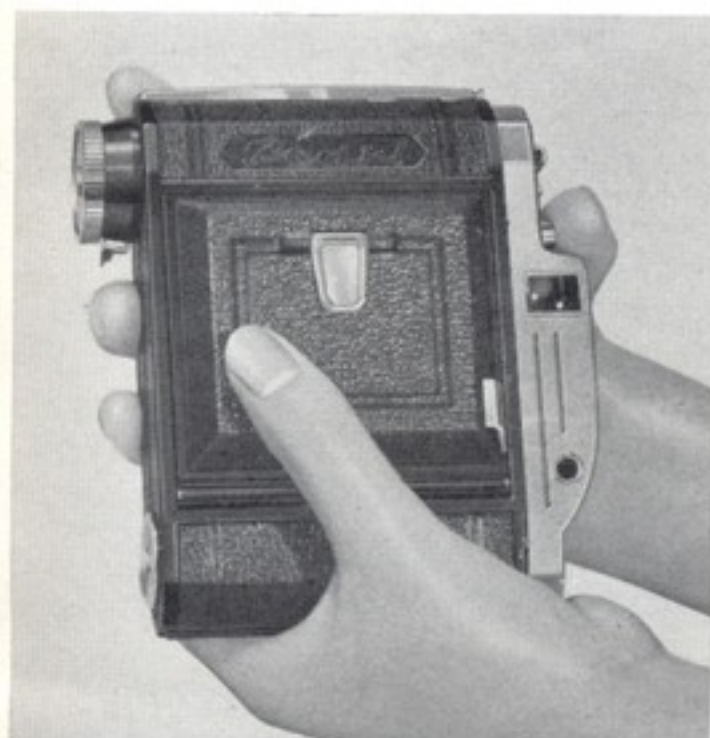
セイコーシャ MXL シャッターは B・1・ $1/2$ ・ $1/5$ ・ $1/10$ ・ $1/25$ ・ $1/50$ ・ $1/100$ ・ $1/250$ ・ $1/500$ 秒の各速度を有し、ライトバリュー（光値数）目盛がついておりますから撮影のとき適正なライトバリューを目盛にセットすれば、幾とおりもの絞りとシャッターの組合せが自動的に得られます。フラッシュ同調装置は M・F・X の接点があるので、この切替えにより M 級・F 級のフラッシュバルブおよびストロボ（閃光放電管）でも最高速度 $1/500$ 秒まで全秒時の完全同調が可能です。そのシンクロ効果はきわめて優秀であり、フラッシュバルブの光量を最も有効に活用できます。

距 離 計



パールⅢの距離計は独特の機構による一眼二重像合致式距離計であります。その半透明鏡には特許(第184797号)による三重膜式補色鏡を使用し、巧妙な補色距離計となっております。光の干渉による増透、増反射のため視野が非常に明るく、二重像は完全な補色すなわち黄色像と紫色像になつて見えるので、そのズレが明確であり、合致したときは自然光となるので判定がきわめて正確容易であります。光学的および機械的構造に特別な考案がなされておりますから、レンズとの連動誤差がなく高精度の焦点調節が可能です。したがつてきわめて鮮鋭な写真を撮影することができます。

前蓋の開閉

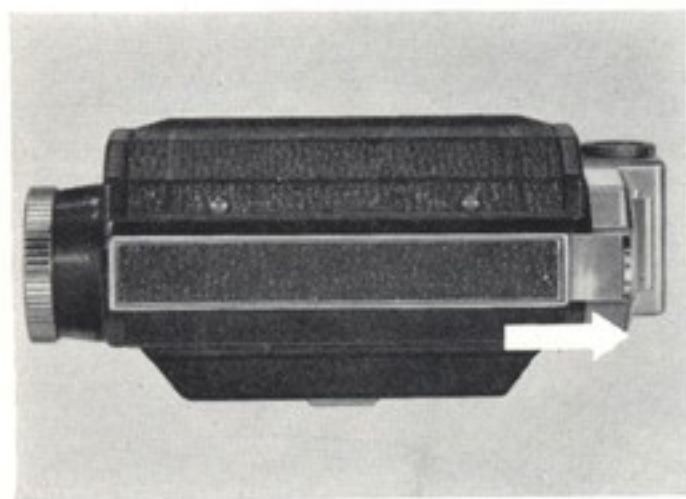


前蓋開きボタンを指先で押すとスプリングの力で前蓋が開き、レンズシャッター部がとび出してタスキによつて撮影位置に固定されます。前蓋は必ず手で押えながら、静かに開くようにしてください。不用意に急激に開くとカメラ開閉機構に悪い影響を与えます。



カメラの前蓋を閉じるには、焦点調節レバーを ∞ に戻し蛇腹の両側にあるタスキ折たたみレバーのギザギザのついたところを両手の親指で中へ押えたと、レンズシャッター一部はスムーズにたたみ込まれます。

裏蓋の開閉



裏蓋を開くには、裏蓋止引手を引くと裏蓋が開きます。

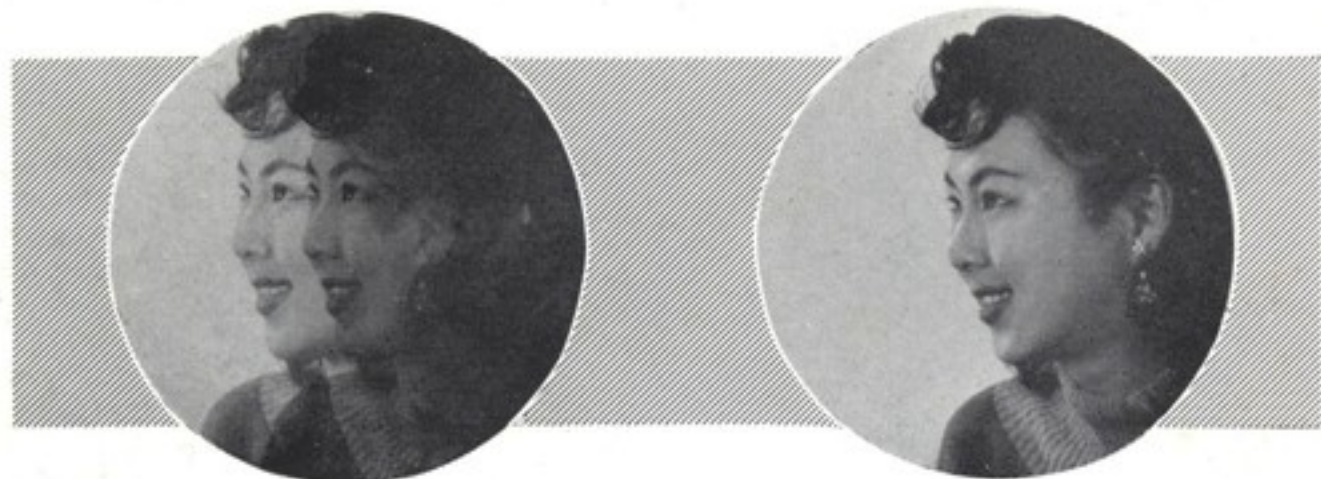
裏蓋を閉じるには、裏蓋を指先で押えながら裏蓋止引手を元に戻すと裏蓋は閉じます。

カメラの構え方



鮮鋭な写真を得るためには正確に焦点を合わせることとパーレリーズを押す際カメラブレを起さないよう正しいカメラの持ち方をすることがたいせつです。縦位置撮影のときは右手親指をカメラの裏蓋に当てて握り、右手中指を焦点調節レバーにかけ、他の指でカメラの前方より押えます。左手人さし指はパーレリーズにかけ、他の指で前蓋を押えて（この場合指先で距離計丸窓をふさがらないよう）保持し、焦点と構図が決つたら左手の人さし指でパーレリーズを静かに押してください。横位置撮影の際は左の手のひらにカメラを乗せるようにして握り、左手親指でパーレリーズを押します。

焦点の合わせ方とファインダーの見方

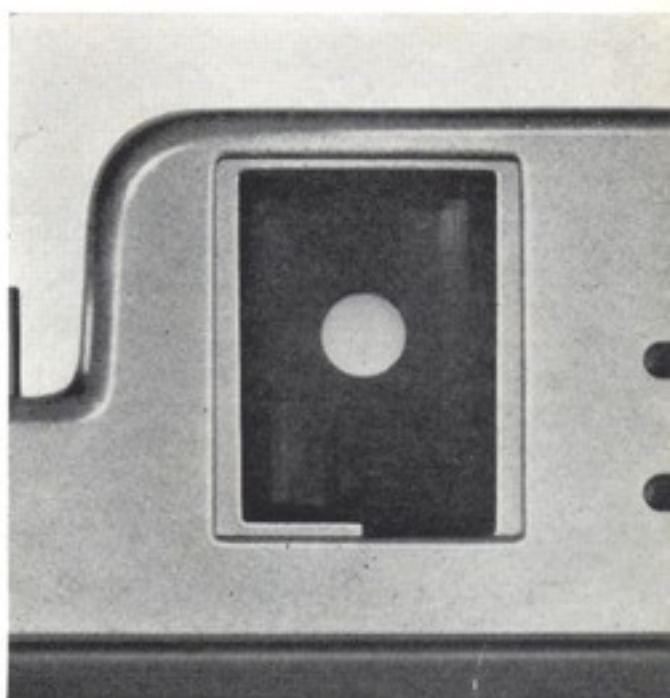


焦点が合わないとき

焦点が合ったとき

焦点の調節は焦点調節レバーを動かして行います。アイピースより正しくファインダーをのぞきながら、焦点調節レバーを動かすと二重像の一方の像が動きます。この二重像が完全に合致したときが焦点の合ったときで、レンズの焦点は正確に被写体に合っており、距離計はファインダーの中に組み込まれており、いわゆる一眼二重像合致式距離計ですから、焦点を合わせると同時に構図の決定ができます。被写体に焦点を合わせたとき、距離目盛を見ると被写体までの距離がわかり、被写界深度を知るときに利用します。

ファインダー窓の前面に切込みがついております。この切込みを通して、焦点を合わせる姿勢で、同時にシャッター速度目盛および被写界深度目盛を見ることができます。



シャッター速度の調節

シャッター速度の調節はシャッター速度ダイヤルを回して速度目盛を指標に合わせます。シャッター速度目盛のBはバルブ露出に使用し、B以外の速度目盛は瞬間露出の逆数を示してあります。つまり1は1秒2は $1/2$ 秒、100は $1/100$ 秒であります。



絞りの調節



絞りはフィルム面に到達する光の量を調節し、また被写界深度を調節するものです。絞りの調節は絞りレバーを動かして目盛を指標に合わせます。絞り目盛はF/3.5とF/4の相互間のほかは1目盛絞るごとに明るさは半減する関係になっております。

ライトバリュウ（光値数）目盛の使い方



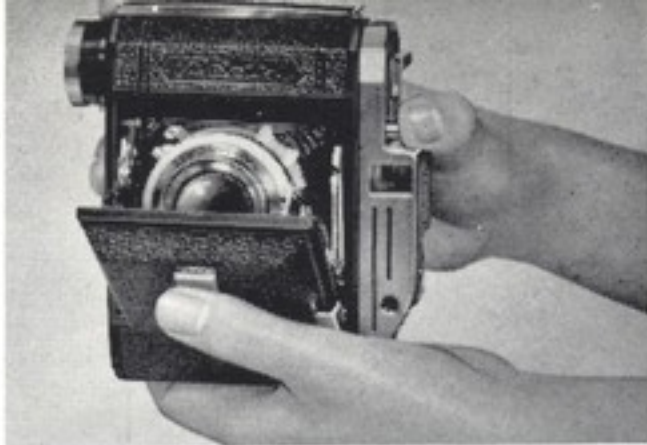
セイコーシャ MXL シャッターにはライトバリューと呼ばれる目盛がついております。被写体に応じた適正なライトバリューをライトバリュー目盛上に指針をセットすれば、そのときの適正露出の絞りとシャッター速度が幾とおりも自動的に組合されます。たとえば適正なライトバリューが 12.5 であつたとすると、指針を 12.5 に合わせれば $F/8 \ 1/100$ あるいは $F/11 \ 1/50 \cdot F/16 \ 1/25$ 秒……………と幾とおりもの組合せが得られます。このうちいずれの組合せを使つても適正露出になるわけですから、被写体の条件、つまり動きの速いものには速いシャッター速度、反対に動きのない被写体で奥行きのあるものを写すには、シャッター速度ダイヤルを回して小さい絞りに絞り目盛をもつていけばシャッター速度は自動的に緩速度になります。

なお、従来どおりシャッター速度と絞りを別々に合わせて使うこともできますが、このときにもシャッター速度を動かせば絞り目盛は自動的に動き、いずれの組合せを選んでも同一濃度のネガを得られることになります。

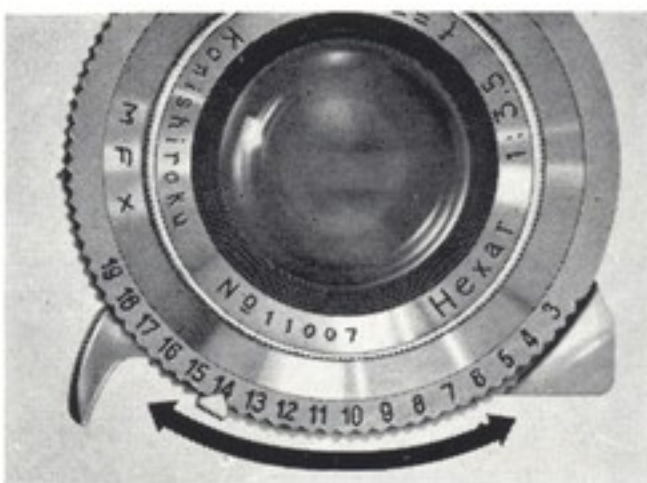
〔注意〕ライトバリューは B および $1/500$ 秒のときにかぎり自動変換しませんから、絞り目盛を別に調節してください。

撮影の順序

1 前蓋を開く



2 ライトバリュウ（光値数）を決める

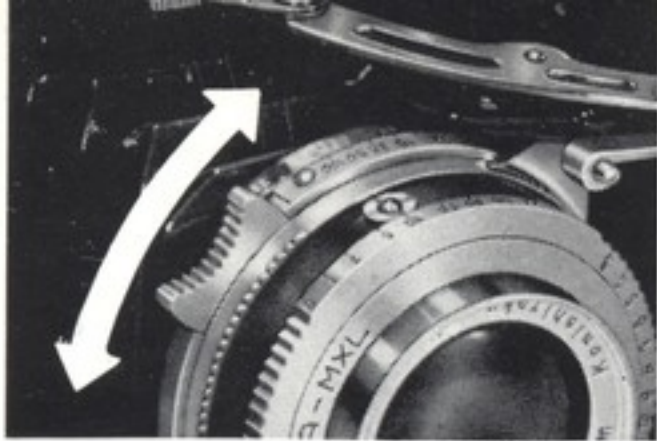


3 被写体に応じ、絞りとシャッターの適切な組合せを選ぶ

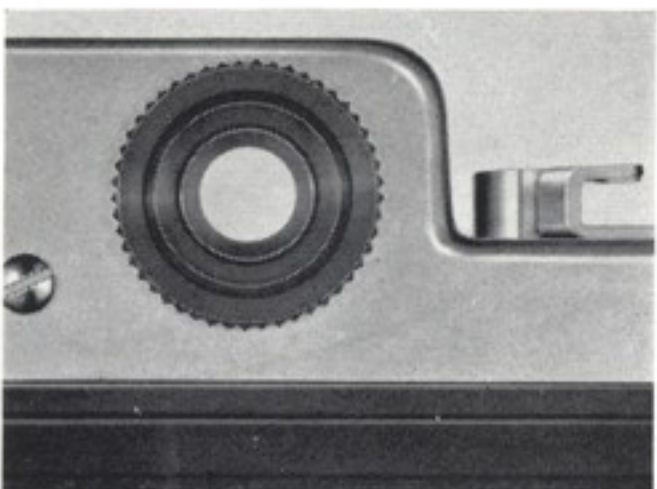


4 シャッターをセットする





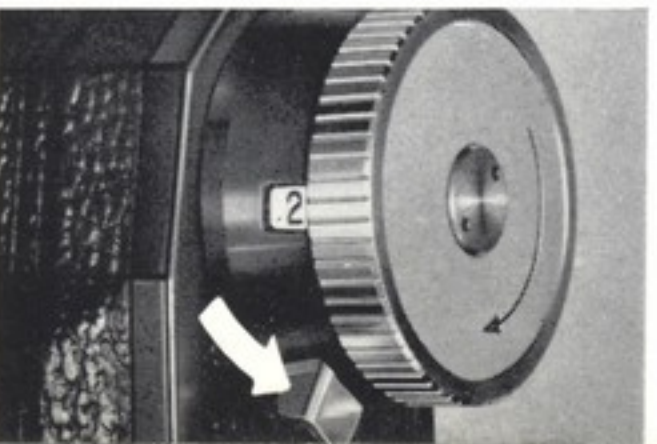
5 焦点を合わせる



6 構図を決める

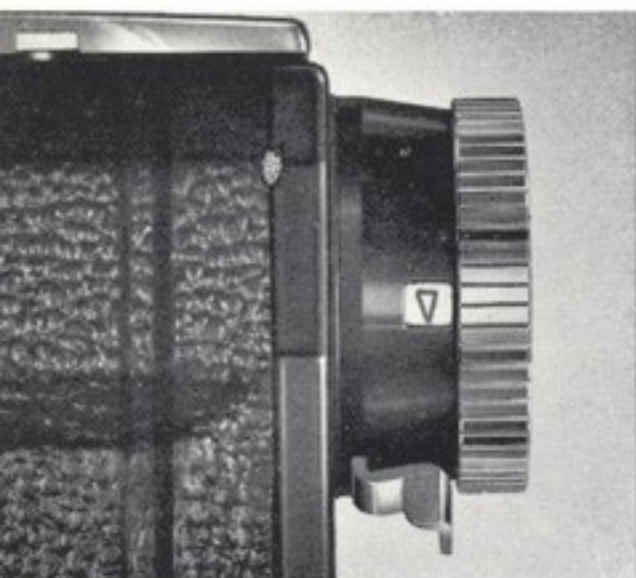


7 シャッターを押す



8 巻止解除レバーを押し、フィルムを1枚巻取る

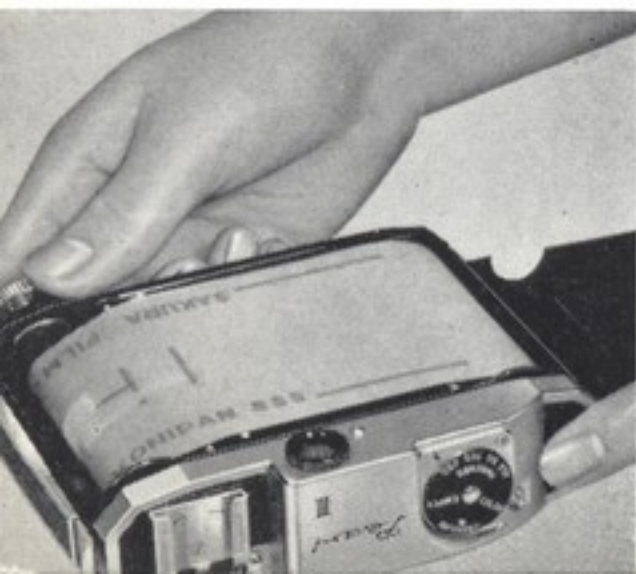
フィルムの入れ方



- 1 パールIIIはスタートマークを合わせてフィルムを入れる自動巻止式ですから、フィルムを入れる前にフィルム枚数表示窓に▽印（このとき巻止機構はフリーになります）を出しておいてください。



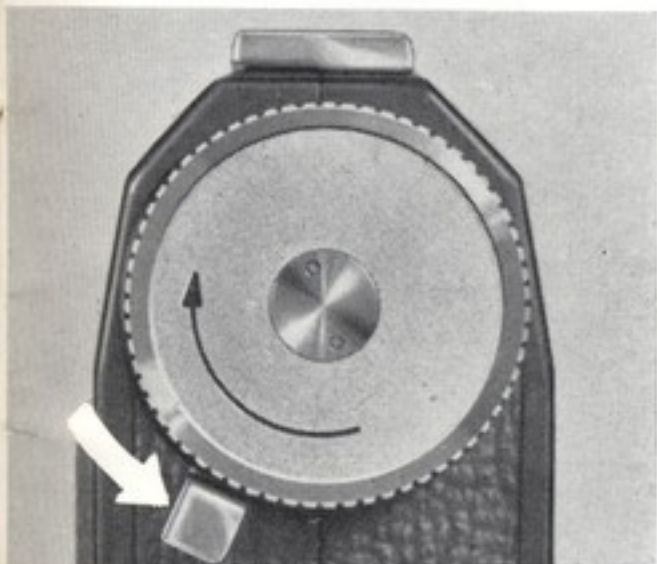
- 2 裏蓋止引手を引き裏蓋を開き、フィルムのリーダーペーパーの先端を巻取りスプール側に向け、距離計側のスプール軸受けにスプールの穴をはめ、その方向に押しながら反対側のスプール軸受けにはめ込みます。



- 3 フィルムの帯封をきり捨てリーダーペーパーを10cm位引き出し巻取りスプールの長い方の溝に先端を差し込み、巻取りノブを2回位回してリーダーペーパーを正しく巻きつけます。



- さらにリーダーペーパーを固く巻きつけるように注意しながら巻取りノブを回して行くと、リーダーペーパーのスタートマークが現われますから、このスタートマークとボディ内部の白印のスタートマークを合わせて裏蓋を閉じ、裏蓋止引手をもとに戻します。

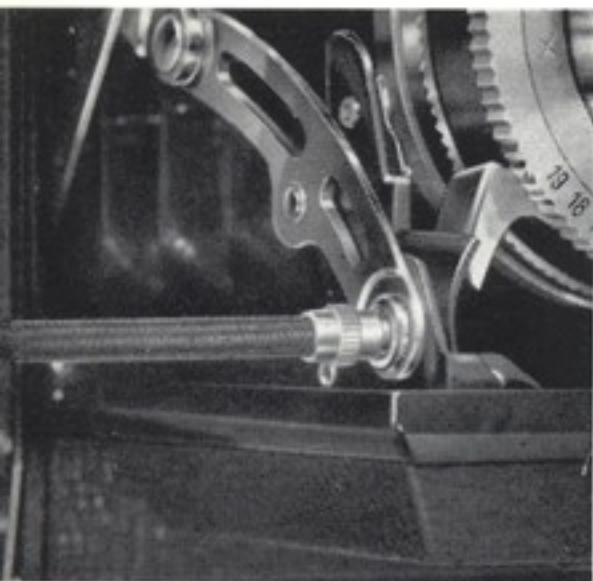


- 次に巻止解除レバーを図示の方向に押し巻取りノブが止まるまで回すとフィルム枚数表示窓に1が現われ巻取りノブが自動的にストップします。これで1枚目の撮影準備ができました。

同様操作で順次16迄自動巻止装置によりフィルムを巻取り16枚の撮影ができます。

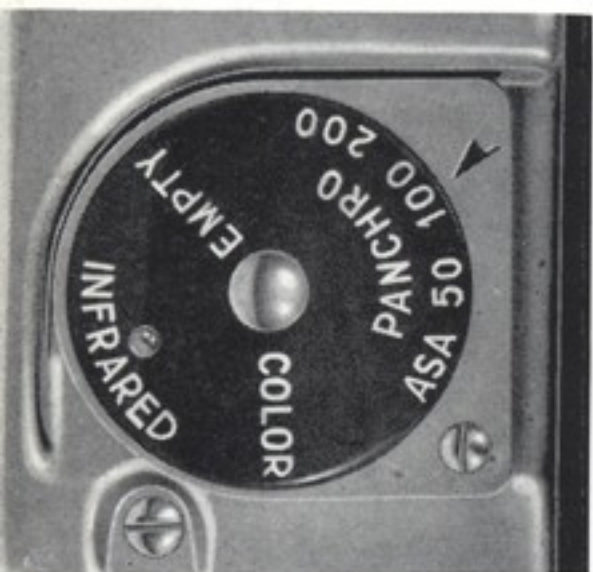
〔注意〕

- フィルムを入れるときは必ず日陰を選んでください。日陰のない場所では自分の身体の陰を利用して操作します。
- リーダーペーパーはスプールに正しく巻きつけてください。曲ついているとリーダーペーパーの端が切れたり途中で巻取れなくなることがあります。



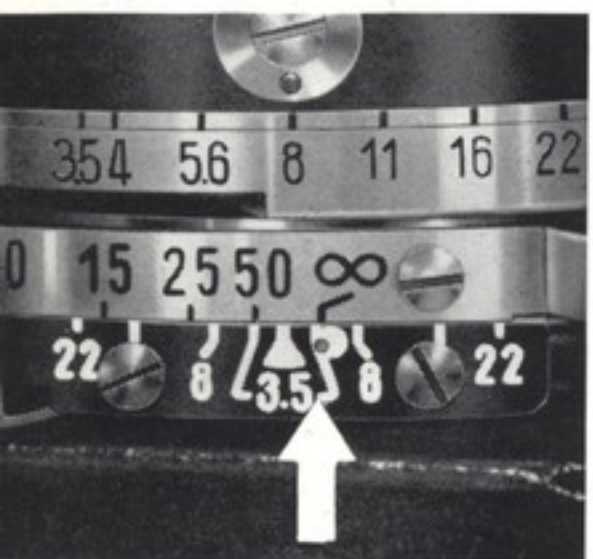
ケーブルリリースの使い方

リリース穴は向って左側のタスキの下部についております。ケーブルリリース、セルフタイマーなどを取付けるときに利用します。



フィルムインジケーター

フィルムインジケーターはカメラに入れてあるフィルムの種類にしたがつて、これらの文字を指標に合わせ使用時に間違いのないために利用します。



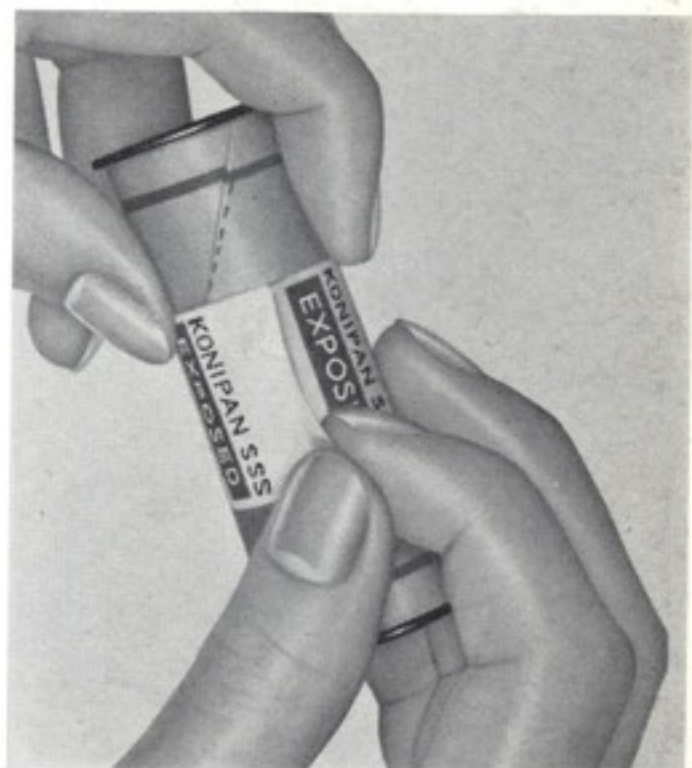
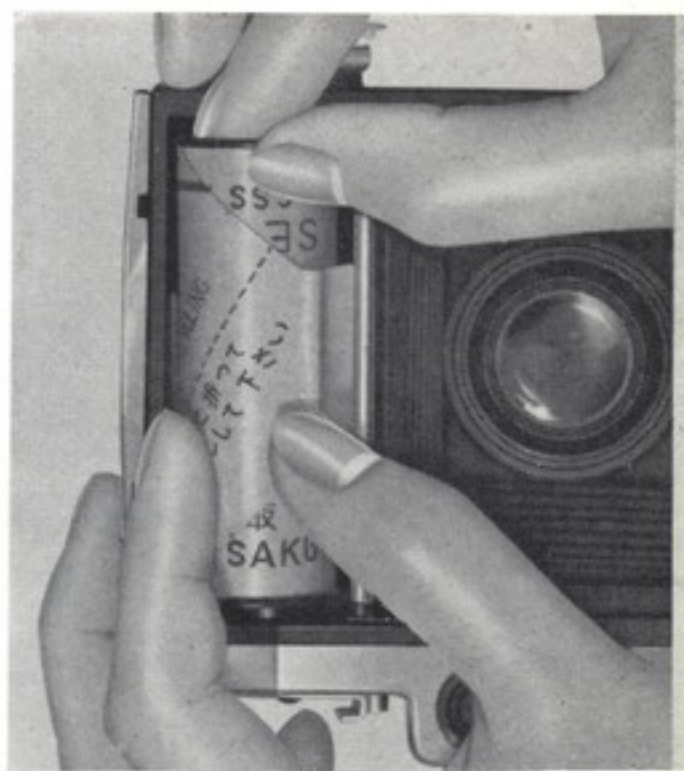
赤外線撮影用マーク

赤外線撮影用マークは被写界深度目盛板上に赤点で印してあります。赤外線フィルム使用の際は距離計で合わせた距離目盛をこの赤点印まで移動させて撮影してください。

フィルムの取出し方

フィルム枚数表示窓に16が出て、これを撮影し終つたら巻止解除レバーを押してから、巻取りノブを回してフィルムを全部巻取ります（巻取りスプールの方にフィルムが巻取られてしまうと巻取りノブの抵抗が軽くなります）。次に裏蓋止引手を引き裏蓋を開け、リーダーペーパーがゆるまないように注意しながらフィルムを取出します。取出したフィルムはリーダーペーパーの端を少し折曲げ、ついている帯封で糊付けします。

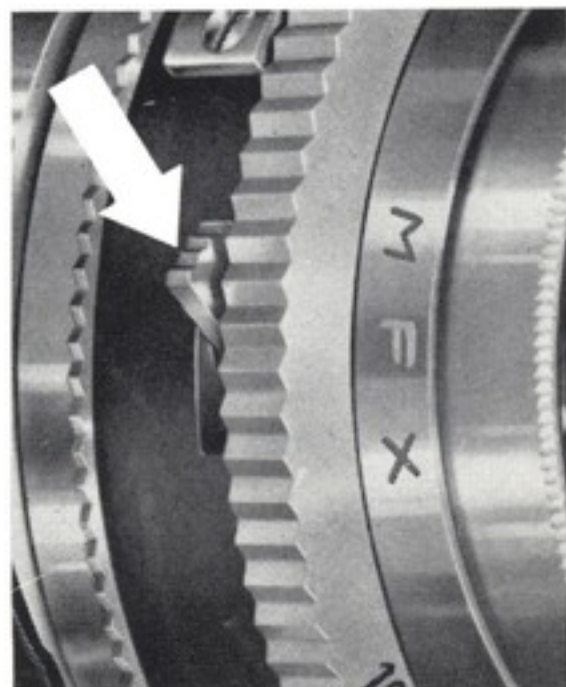
なお残つた、からスプールは巻取り側に移しておくとの次の撮影のときに便利です。



フラッシュ同調撮影

フラッシュ同調撮影を行うときには、フラッシュ接続プラグにフラッシュガンのコードのソケットを接続します。フラッシュ接続プラグはB型(ドイツ式)のものがついておりますから、B型(ドイツ式)ソケットの接続コードを使用してください。

セイコーシャMXLシャッターはM・F・Xの接点切替装置をもつ全秒時同調可能のフルシンクロシャッターであります。シャッターの向つて左側に赤色のシンクロ切替レバーがあり、このレバーを動かすことによつて、接点をM・F・Xの三段に切替えることができ、使用するフラッシュバルブに応じて所要のマークに合わせます。



M 接点の使用法

M接点はM級（タイムツープーク20ミリ秒内外）のフラッシュバルブを使用すると、シャッター速度は $1/500$ 秒までいずれの速度にも完全同調します。

F 接点の使用法

F接点はF級のフラッシュバルブを使用し全速度の同調撮影が可能です。

なおF級フラッシュバルブのタイムツープークはJIS(日本工業規格)では10ミリ秒以下となつておりますが、実際は5~10ミリ秒の間にあります。したがつて10ミリ秒に近いF級フラッシュバルブでは $1/100$ 秒より遅い速度でご使用になる方が安全です。

X 接点の使用法

X接点はシャッターの羽根が全開したときシャッターの接点が閉じるので、ストロボ（閃光放電管）を使用する際に用います。X接点でフラッシュバルブを使用する場合は $1/25$ 秒以下の緩速度ならば同調させることができます。

〔注意〕

セイコーシャ MXL シャッターは、M接点のときには同調ガバナーと同調レバーが働き、F接点では同調レバーのみが働き、X接点ではこの両者共に働かず休止する構造になつております。したがつてフラッシュ同調撮影をしないときは、切替レバーはXにセットしておくのがシャッター保護のためになります。

被写界深度



ある被写体に焦点を合わせたとき、その前後においても焦点の鮮鋭に写る範囲があります。この鮮鋭に写る範囲を被写界深度と称します。被写界深度は絞りと距離に関連しており、一定距離においては絞りを絞るほど被写界深度は深くなり、一定の絞りならば被写体までの距離が遠いほど被写界深度は深く、近距離においては浅くなります。また被写界深度は焦点を合わせた被写体の後方に深く、前方に浅い性質をもつております。

被写界深度は被写界深度目盛によつて知ることができます。焦点調節レバーを動かして距離計の二重像が合致したとき、被写界深度目盛の指標を見ると、被写体までの距離と被写界深度を知ることができます。

たとえば被写体までの距離が15フィートであつたとすると、F/8 の場合は約11フィートから21フィートまで、F/16（ピスの頭のところ）では約9フィートから40フィートの間が被写界深度に入り鮮明に焦点の合う範囲であることがわかります。

ヘキサー F/3.5 75mm

被写界深度表 (フィート)

距離目盛 フィート F No.	4	5	6	7	8	10	15	25	50	∞
3.5	3.88	4.81	5.72	6.61	7.49	9.20	13.22	20.35	34.15	106.50
	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~
	4.13	5.21	6.31	7.44	8.59	10.96	17.34	32.44	93.59	∞
4	3.87	4.78	5.68	6.56	7.42	9.10	13.00	19.83	32.68	93.26
	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~
	4.15	5.24	6.36	7.51	8.68	11.11	17.74	33.89	106.97	∞
5.6	3.81	4.70	5.56	6.40	7.21	8.78	12.35	18.32	28.73	66.76
	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~
	4.21	5.34	6.52	7.73	8.99	11.63	19.13	39.52	197.03	∞
8	3.74	4.58	5.39	6.17	6.92	8.34	11.49	16.45	24.32	46.88
	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~
	4.30	5.51	6.77	8.10	9.49	12.51	21.71	52.72	∞	∞
11	3.65	4.44	5.19	5.91	6.59	7.86	10.70	14.59	20.42	34.22
	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~
	4.43	5.73	7.12	8.61	10.21	13.82	26.13	90.73	∞	∞
16	3.51	4.23	4.90	5.52	6.11	7.17	9.33	12.29	16.13	23.68
	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~
	4.66	6.14	7.78	9.63	11.70	16.76	39.63	∞	∞	∞
22	3.36	4.00	4.59	5.12	5.62	6.49	8.18	10.34	12.90	17.36
	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~
	4.97	6.72	8.78	11.23	14.19	22.57	105.59	∞	∞	∞



5612-U

小西六写真工業株式会社